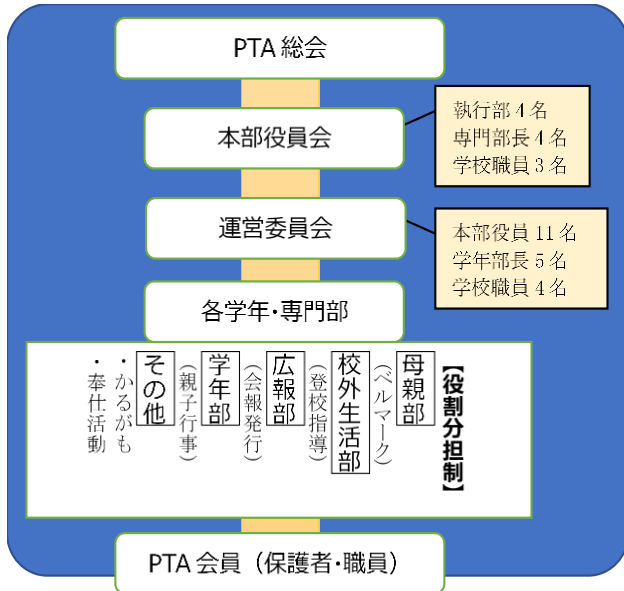


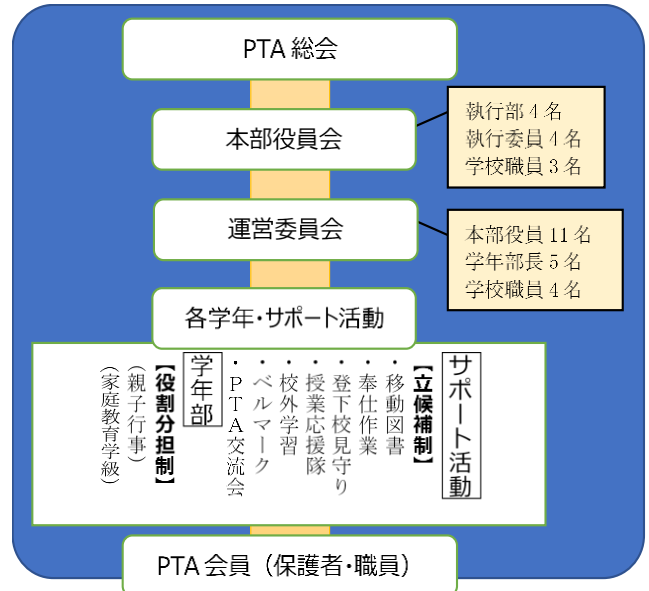
今年度のチャレンジを生かして、より楽しい活動に！

1 今年度までのPTA

【～令和3年度までの白小PTA組織】



【令和4年度の白小PTA組織】



【成果】

- 保護者と職員がよりよい関係を築きつつ、PTAを組織的に運営し、子どもの成長に向けて、お互いを尊重しながら活動できました。
- 白鳥小学校は、特に保護者がPTA活動に参加することを厭わず、協力体制が充実していました。

【課題】

- 長きにわたり、例年同じPTA活動を展開してきており、現代のニーズに沿わない点が出てきていました。
- PTA活動を地域の活動に広げ、地域全体で子どもの成長を見守る体制作りが必要になってきました。

【成果】

- 専門部を廃止し、必要だと思う活動についてサポートを立候補で募ったことにより、自分から進んで参加できるようになりました。(執行部も立候補を中心)
- 参加された会員の皆様からは、「やってよかった」「楽しかった」等の感想が多くありました。

【課題】

- 学年部については、これまで通り役割分担を行ったため、無理にお願いした会員の方がいらっしやいました。
- 一切参加されない会員の方もいらっしやいました。(職員の認知も低かったです。)
- 地域への広がりを実感する必要があります。

2 令和5年度のPTA

◇これまでの白鳥小学校PTAのよさを継承しつつ、より「家庭・地域・学校」がチームとして機能し、目の前の子のために、自分たちが楽しめる活動を工夫したいです。

<最終的な目標>

- ① 保護者や地域のみなさんが、気楽な感じで学校を拠点として、子どもたちと触れ合う。
- ② 自分の子だけではなく、互いに顔を覚え、名前を呼び合えるような関係になる。
- ③ 会員の自主性を大切にし、「やってよかった」という実感を分かち合う。

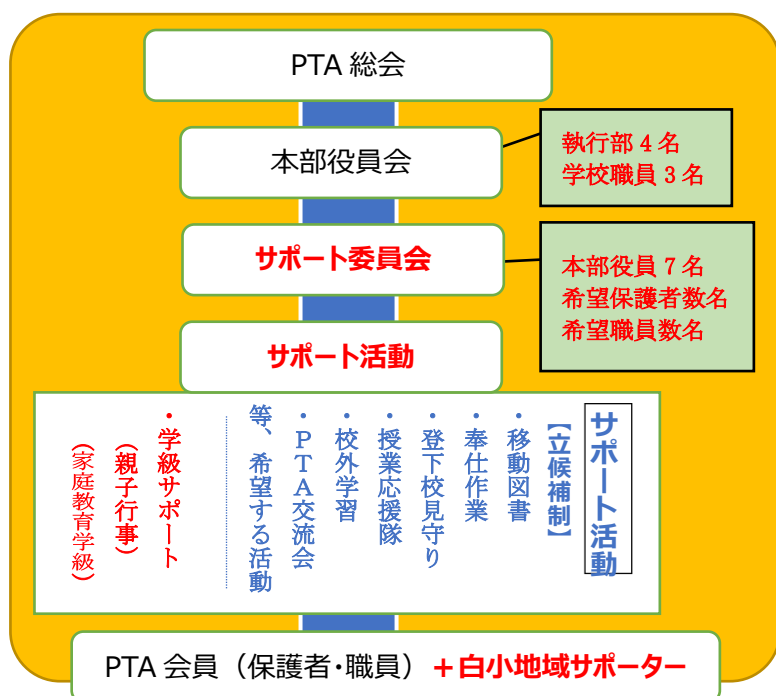
◇そこで、令和5年度のPTAは、令和4年度からさらに発展させ、次のような組織で活動したらどうでしょうか。

- ① **白鳥小PTAの役員**としては、「会長1名、副会長2名、会計1名【執行部】」を置きます。
(保護者からの立候補を基本とします。)
- ② **本部役員会**は、執行部の4名+学校職員3名=計7名で構成します。
- ③ **運営委員会を廃止**し、サポート委員会を立ち上げます。
(これにより、役割分担制であった【専門部】【学年部】が消滅します。)
- ④ **PTA活動を全て「サポート活動」とし**、「やるといい活動」「やってみたい活動」を本部役員会や会員の生の声を聴取して決め出し、その都度、参加できる会員を募って活動を行います。(本部役員会を中心として、サポート活動の運営を行います。)
- ⑤ 必要に応じて「**サポート委員会**」を開催し、具体的な運営や進行について相談できる機会を設けます。(必要のない活動は開催しません。また、参加者は本部役員の他、会員の希望者とします。)
- ⑥ **学年部もサポート活動**とします。
(授業参観、親子行事等がサポート活動となり、学校職員と共同で開催することになります。)
(ただし、緊急な案件や職員からの相談事項について、その取りまとめ役として、「学級サポーター」のリーダーを立候補で募ります。)
- ⑦ PTA活動を保護者と職員に限定せず、**校区の地域の皆さんにも希望で参加**できるようにします。(白鳥小地域サポーター…すでに見守り隊などが活動中)

以上の7点について、新たにチャレンジし、「より白小PTAが、楽しく子どものためになる活動」になるように行っていきたいと考えています。合い言葉は、来年度も、

「できる時に、できる人が、無理なく、楽しく」

です!



【令和5年度白小PTA全体組織図】

- ・赤字…R5年度から新たにチャレンジする内容
- ・青字…R4年度にチャレンジした内容
- ・黒字…それ以前から行っている内容

<検討事項>

- ・このような活動を行っていくことになると、PTAとは違う感じになるので、名前に違和感があります。

Ex: PTA (parent teacher association) → 白小スクールサポート活動 (SSS) とかどうでしょうか。